

東アジア圏の文化的・社会的な文脈を踏まえた 教師教育モデルと研修システムの比較研究 その1：東アジア教員養成国際シンポジウム

研究の概要

各国が21世紀型能力や資質の育成を目指す教育改革を推進し、国家間で教育政策やモデルの借用が盛んでいる。しかし、資質能力の定義及び実践枠組みだけではなく、参照される国際教育モデルの多くが西欧先進諸国発のものであり、国際的な教育モデルの多元化の必要性が指摘されてきた（恒吉、2018）。儒教の師道観の影響が少なからずある国や地域で、それぞれの文化的・社会的な価値体系を踏まえた見直しが進んでいる。

社会・経済のグローバル化を背景として、社会の激しい変化に応じた知識・技能の更新が教員に求められている。日本をはじめとした東アジアの国や地域でも、教員の力量形成や職能開発を支える研修をいかに実施するかについては、共通する課題である。また、PISAなどの国際調査が各国の教育政策の文脈に強い影響力を持つなかで、そのエビデンスの多くが欧米の価値体系の影響下にあるという課題も顕在化し始めている。こうした国際調査データを介した教育のあり方の急速かつ大規模な普遍化は、各国地域の文化的・社会的な文脈の特性を矮小化する可能性をもつ。こうした背景を念頭に、本研究は、東アジア及び東南アジアの地域を対象にして、新たな教育課題に対応する教員研修のシステムを解明すると共に、教員研修の高度化、体系化、組織化の実現に向け、東アジア型教師教育のシステムモデルを提示し、その実践への活用を図る。ここでは、東アジア教員養成国際コンソーシアムが主催するシンポジウムのテーマや基調講演をレビューし、2011年以降の動向を探ることとする。

年	テーマ	分科会
2022	新たな時代における教師のコンピテンシーと能力開発	I. 新たな時代における教員の役割の変革 II. 教師の知識とコア・コンピテンシー III. スマート・ティーチングと教師の英知
2021	DX時代：教員養成システム改革	I. コロナ後の教師教育改革とマルチプラットフォーム化 II. AI・データサイエンス社会における教師教育改革
2020	コロナで中止	コロナで中止
2019	未来の教育に向かう教師の専門性と教師教育	I. 世界の教育改革・発展の動向と教職の課題 II. 東アジア諸国における教師教育の改革と発展：歴史、現状、そして未来へ III. 東アジア地域における教師教育共生発展のための枠組みと行動 IV. 21世紀型スキルの観点から見た教師の専門的能力の構築 V. 人工知能を活用した教師教育の思想と実践 VI. 東アジア諸国における教師教育研究の新領域への展望
2018	次世代育成教育に向けて	I. 次世代育成教育の理念、理論的研究 II. 次世代育成教育の実践と応用 III. 教員養成大学・学部の国際交流・国際連携
2017	第四次産業革命時代を備えた教師教育の方向	
2016	インターネット時代における教員養成の改革と刷新	I. 情報化と教職開発 II. インタネット時代における教師教育の革新 III. 情報化における教職開発の理論と実践
2015	大学院における教員養成の高度化	I. 大学院レベルの教員養成 II. 学部レベルの教員養成 III. 教員研修
2014	デジタル時代のSMART教育と教師教育	I. 教育環境における新しいパラダイム転換 II. 教師教育 III. 教学中の現代問題
2013	東アジアの大学における教員養成の質保証	I. 一般教員の養成の質保証 II. 教員養成担当の大学教員の質保証 III. 教育指導職の養成の質保証
2012	東アジア教員養成の質保証	I. 教員養成質保証に関する研究報告 II. 教員養成教育における大学-学校間連携
2011	東アジアの伝統文化と現代教師教育	I. I 伝統文化における教師の位置、その現代的示唆 II. II 東アジア教育の長所とその継承のための教師教育法案 III. III 教師教育プログラムにおける専攻教育と教養教育の現況と未来

今後の展望

新たな教育課題に対応する教員研修システムの再構築によって以下の3点を期待できる。①国際機関の調査研究が示す学力モデルとこれに対応する教師教育モデルを相対化して検証・評価する東アジア型の文脈を反映するモデルの提示；②東アジア型の学校教育モデルの構成因子の提示と、これらの因子を踏まえた学力モデルと教員研修のあり方の検討；③急速に変化する予見困難な社会に応答する教員研修（教師教育）のフレームワークの提示と、実践を介した省察による評価。